

今月の納期

市民税・県民税・森林環境税  
後期高齢者医療保険料

第3期  
第4期

国民健康保険税  
介護保険料

第5期 10月31日まで

年金・水道・住まい

任意加入で国民年金の増加を

60~64歳で保険料の納付月数が479月までの人、65~69歳で受給資格期間が足りない人、20~64歳の外国に在住者など ※厚生年金保険に未加入などの条件あり ◇詳しくは日本年金機構HPか国民年金課

水道料金、下水道使用料のお支払いは期限内に

納付がないときは、委託会社が訪問などを行います ◇委託会社...ヴェオリア・ジェネッツ(株) 水道局お客様料金センター

洗濯排水などの汚水は汚水用の排水管へ

洗濯機の排水を雨水用の排水管や側溝などに流すと悪臭の発生や河川・海などの汚染につながるため、汚水用の排水管へ流してください

合併処理浄化槽への取り換え費用の補助

単独処理浄化槽かくみ取り槽から、合併処理浄化槽へ取り換えるときに設置費用の一部を補助 下水道事業計画区域以外の地域にある既存の住宅や集会施設(公民館など) ※新築・建て替えを除く ◇浄化槽の規模に応じて補助額は異なります

個人住宅への雨水の貯留施設、浸透施設の設置助成

助成額...対象経費の2分の1(上限あり) ※事前申請が必要 ◇詳しくは市HPか水道局下水道雨水課



がけ地応急防災工事の補助

がけ崩れの被害から周辺住民の安全を守るため、所有者などが行う応急防災工事の一部を補助 ◇補助額...対象経費の2分の1(上限30万円) ※事前協議が必要

危険空き家の解体費用補助

老朽化が著しい個人所有の空き家で、周囲への危険性が高いものや利活用の進みにくい敷地に建つもの ◇補助額...解体費用の3分の1(上限30万円) ※事前協議が必要

市営住宅入居者の随時募集

定期募集で申し込みのなかった住戸(約600戸) ※一部の住宅では59歳以下の単身者も申し込み可

環境

ペットには迷子札などを着けましょう

ペットには飼い主の名前・連絡先が分かる迷子札などを着けましょう ◇飼犬には鑑札、狂犬病予防注射済票を首輪などに装着しましょう

道路上に張り出した樹木などは剪定・伐採しましょう

私有地から道路上に張り出した樹木などは通行の支障になり、標識が見えにくくなるなど、交通事故の原因となり危険です



花苗を無料で配布します

10月26日(日)9時~ 150人、2~4各20人(いずれも当日先着順) ◇詳しくは市公園公社

3Rでごみの減量化・資源化に取り組みましょう

詳しくは市HPか資源政策課



空き地の雑草は害虫の発生や火災などの原因になります

土地の所有者・管理者は年2回以上雑草の除去を行い、良好な環境の保全を

お知らせ・募集

FPフォーラム2025&金融広報委員会講演会in鹿児島

くらしとお金に関する講演会や個別相談会 10月25日(土)10~16時

シェイクアウト訓練に参加を

11月5日(水)10時~ ◇全国同時に行われる緊急地震速報訓練に合わせ、防災行政無線から緊急地震速報(訓練)を放送します



食品ロスを減らしましょう

買い物に行く前に、家にある食材をチェックしましょう ◇使い切れる分だけ買いましょう

食品ロス削減マッチングサービスをご活用ください

食品をお得に購入できるマッチングサービスに登録し、食品ロス削減に参加しましょう

市電・市バスのシニア定期券がお得

65歳以上の方が利用でき、通勤定期券よりもお得です ※購入時に保険証など年齢確認できる書類が必要

市電軌道敷内での運転にお気を付けください

車が交差点で停車、または、交差点手前で市電と並走しているとき、市電の進行を認識してもらうために警笛を鳴らします

運転中や歩行中の携帯電話・スマホの使用は危険です

自動車や自転車の運転中に携帯電話を手を持って通話や操作を行ったり、スマホやカーナビなどの画面を注視することは法律で禁止されています

スマートフォン活用講座(出前講座)をご利用ください

スマホの基本操作や市が提供するアプリなどの操作講習 市内に住む18歳以上の機器を持参できる人で構成される10~20人のグループ

農地の利用意向調査にご協力を

農地利用状況調査で把握した、耕作されていない農地を所有する人に対し、意向調査を実施しています

サツマソイルの販売・無料配布

下水処理の過程で発生する汚泥を堆肥化したサツマソイルを販売しています

赤い羽根共同募金にご協力を

全国一斉に赤い羽根共同募金運動が12月31日まで行われます

コンビニなどでの証明書交付の臨時休止

11月1日(土) サンサンコールかごしま

助けては あなたの ゆう気 大きな一歩

誰もが犯罪被害者となる可能性があります。犯罪被害者などが無責任なうわさ話や中傷などの被害を受けることなく、平穏な生活を送るためには、正しい理解と思いやりが必要です